

農業の新しい技術

No. 750(令和5年(2023年)6月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

黒毛和種種雄牛「忠平幸」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：福島敬太

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、産肉能力現場後代検定及び育種価評価を実施し、その結果に基づき優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 枝肉重量と脂肪交雑に優れた黒毛和種種雄牛「忠平幸」を選抜した。

○血統

父 勝忠平 (黒原 3800)	祖父 平茂勝(黒原 2441)	— 第20平茂(黒育 134)
	祖母 うめ2(黒原 788266)	— 忠福(黒育 129)
母 やすこ (黒 2293933)	祖父 平茂晴(黒原 3712)	— 糸晴美(黒原 2142)
	祖母 はつこ(黒原 1341810)	— 金幸(黒原 2865)

○登録番号：黒原6195

○生年月日：平成28年9月24日

○生産地：天草市五和町(井上 伸)

2. 現場後代検定成績および育種価

○枝肉重量は雌で508.5kgと非常に優れ、雌牛で歴代最高の成績となった。育種価でも106.45kg(評価種雄牛2,881頭中46位)と高い評価となった。

○BMSNo. は去勢8.85、雌8.17と優れており、育種価でも2.82(評価種雄牛2,881頭中39位)と高い評価となった。

○SBV¹⁾は枝肉重量2.41、BMSNo. 2.39、ロース芯面積1.79、ばらの厚さ1.09、皮下脂肪の厚さ0.47と皮下脂肪の厚さを除く項目について改良効果が大きいと推定される。

1) SBV(標準化育種価)とは、産肉能力の特徴を把握しやすくするため、各形質の育種価を同一スケール上で比較できるように加工したもの。

3. 特徴

本牛は特に雌牛の成績に優れ、枝肉重量、ロース芯面積、ばらの厚さが508.5kg、68.5cm²、8.5cmと歴代最高の成績である。また、BMSNo. は全体平均で8.67と歴代トップクラスの成績であることから、本牛は肉量、肉質の両面で改良への貢献が期待される。

[具体的データ]



忠平幸 (ただひらゆき)

熊本県農林水産部
忠平幸産子(去勢)の
枝肉写真及び枝肉成績



格付け:A-5 枝重:527.7kg
BMS:11 ロース:73cm²
ばら:6.8cm 母の父:美津照重

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	BMS No.	ロース 芯面積 (cm ²)	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	歩留基準値
去勢	17	506.3	8.8	62.3	7.6	2.2	74.3
雌	6	508.5	8.2	68.5	8.5	2.8	75.1
全体	23	506.9	8.7	63.9	7.8	2.3	74.5

表2 育種価(BV) (R5. 1月評価)

	順位	育種価	(正確度)
枝肉重量 (kg)	46	106.45	(0.92)
BMS No.	39	2.82	(0.92)
ロース芯面積 (cm ²)	150	19.06	(0.92)
ばらの厚さ (cm)	428	0.93	(0.90)
皮下脂肪の厚さ (cm)	898	-0.52	(0.92)
歩留基準値	508	2.26	(0.92)

後代頭数 25 頭(フィールド成績を含む)

順位は評価種雄牛 2,881 頭中の順位

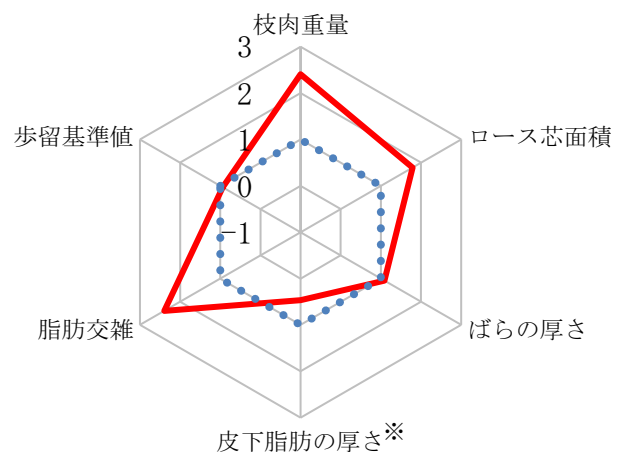


図1 SBV (標準化育種価)

※ 皮下脂肪は逆符号